

関西支部ニュース（2）

昭和39年度関西支部年会記事

5月28、29の両日新しく出来たばかりの大阪共済会館で開催された。今回の発表論文は37題目で例年よりいく分少なかったが昨年同様座長には数日前から担当講演のプリントを配布してあったことや、時間が例年よりいく分多かったこともあって質疑応答が活発に行なわれ有意義に全行事を終了することが出来た。紙面の都合で総会の要旨のみを以下に掲載する。

総会は京都府立大学の東修三教授が議長にえらばれ緊急提案を含む下記の議案について審議が行なわれ、いずれも承認された。なお総会出席者は96名委任状は91通であった。

1. 昭和38年度事業報告

年会、月例会の開催状況、月例会ノート支部ニュースの発行状況について報告され、特に昨春秋には中国学術代表団を迎えて歓迎行事を行なったことが報告された。最後に支部ニュースの前号に発表されたような役員の移動が今年4月に行なわれたことが報告された。

2. 昭和38年度決算報告（略）

3. 昭和39年度事業計画

月例会は中国、四国地区を含めて8回開催するがテーマ等は月例会運営委員で決定すること、月例会ノートは編集は昨年通り学会で行なうが発行は予算の都合上大阪管区气象台とすること（しかし全会員に配布する）。支部ニュースは昨年通り必要の都度発行することを承認された。

4. 昭和39年度予算案（略）

5. 提出議題審議

佐藤功会員より提出されていた「1964年訪中日本学術代表団々員派遣の取り組みについて」の議題が審議された。提案理由は既に支部ニュース第9号で公示され委員任状によって書面参加が行なわれた。その結果は趣旨に賛同するもの78、賛同しないもの12、白紙2となった。提案者から追加説明があり中央ではこの度は各界とも長老を送る意向であること等の状況説明が行われ、また質問に答えて北京シンポジウムとは別個の行事であることが理事から説明された。

最後に理事から理事会で文案を決めた上本部にこの趣旨をつたえることを提案し賛成多数で認められた。

6. その他の議題審議

野口篤美会員より藤井義之、喜多村一男、一色光雄の3氏に感謝状を贈ることが提案され賛成多数で認められ文案は理事会に一任された。

佐藤功会員より「機構改革について」の議題が提案された。提案理由は次のとおり、「気象庁は業務再編成、機構改革を行なおうとしているが、例えば観測網の再編成の問題などはもつと学問的な見地から見るべきであり、また地方でも充分調査研究が行なわれ得るよう充分配慮されるべきである。このような見地から気象庁は学会の意見もとり入れて慎重に立案するよう学会から申し入れたい。」支部から学会本部に対して上の趣旨の要望書を出すことが賛成多数で認められ理事会で要望書の文案を作成することになった。

7. 報告事項（略）

8. 来年度関西支部および本部大会会場審議

従来慣例によれば来年の支部大会は京都で行なわれることになっているが、本部より来年の本部大会を関西で受け持って欲しいとの依頼あり、本部、支部大会を合同して来年春大阪で開くことが提案され認められた。

（以上）

支部新役員業務分担決定

支部大会に先立って5月28日10時から開催された本年度第1回理事会で次のとおり新役員の業務分担が決定した。

記

支部長 間野 浩

常任理事（ ）内は担当業務

中 島 暢太郎（庶務：月例会）

橋 本 清 美（会計：月例会）

藤 井 辰 宣（月例会）

吉 野 格（ / ）

山 元 竜三郎（ / ）

中 野 道 雄（ / ）

理 事（ ）内は担当業務

田 村 信 之（月例会）

比 嘉 政 雄（ / ）

越 智 彊（ / ）

合 田 勳（ / ）